

事務事業名	ふるさと飯田応援隊募集事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	20	終了	
H27担当課等名	企画課		H27係等名	企画調整係		H26係等名		企画調整係					
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営				施策	94	効率的、効果的な行財政運営				
目的	対象(誰・何を)	①全国民 ②前年度に市外からふるさと寄附を納入した方				対象指標	指標名及び単位			26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	①ふるさと寄附を飯田市に納入していただく ②飯田市に関心を持っていただき、継続してふるさと寄附を納入していただく					①日本の人口(平成26年10月現在)速報値(千人)			127082			
	向上させたい上位施策の成果指標	集中改革プランの目標達成度					②前年度に市外からふるさと寄附を納入した方(人)			44			
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	ふるさと寄附金の納入額(単位:千円/年)				5000	3301	5000	5000				
	副指標	飯田市公式ウェブサイト ふるさと飯田応援隊の記事へのアクセス数				3400	6024	3400	3600				
定性目標													
事業概要	<p>1 ふるさと寄附金制度を利用して、当市に寄附をいただけるよう、ふるさと飯田応援隊事業としてPRを実施。</p> <p>2 寄附により応援をいただく取組として、①リニア飯田駅の応援、②飯田の観光、文化の振興、③人材育成、人材誘導、④人形劇のまちづくりの4種類をPR。</p> <p>3 ホームページ、PR用チラシ、横断幕等を作成して周知を図るとともに、ふるさと会、高校同窓会等を通じて取組みの周知と寄附の依頼を行う。</p> <p>4 寄附をいただいた方には、お礼状を送付するとともに、一定期間広報誌を送付し、飯田市の情報を届ける。また、寄附の返礼品を送付し、感謝の意を表す。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 ホームページによる告知					1 アクセス数			1 6,024回				
	2 ふるさと会、高校同窓会等での寄附の依頼					2 依頼実施会合数			2 1回				
	3 PRチラシの作成、配布					3 配布枚数			3 約2,000枚				
	4 イベント、バス停等での周知活動					4 周知活動回数			4 3回				
	5 広報での告知					5 告知回数			5 2回				
	6 寄附者への返礼品送付					6 送付件数			6 46件				
	7 クレジットカード収納の導入					7 クレジット収納件数			7 5件				
	8 新ふるさと飯田応援隊の研究												
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		38	129	86	5,497	歳入(寄附金) H25 2,403千円、H26 3,301千円							
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		38	129	86	5,497								
人件費計(千円)②		858		1,788									
正規職員所要時間		240		500									
臨時職員所要時間		0		0									
総事業費①+②		896	129	1,874	5,497								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>・クレジット支払いサイト、ホームページによる広報等に努めており、前年度の寄附件数、金額を超える実績となった。</p> <p>・寄附の増加は、全国的な盛り上がりに影響していることが考えられ、他自治体の取組と比較すると、潜在的な飯田市への寄附を更に見込めると考える。</p>												
改革改善の考え方	①問題点	<p>・寄附の納付に当たって、寄附者に手間をかけさせないようクレジット支払いサイトの登録を行ったが、納付環境を整えるだけでは、劇的な新規の寄附、寄附金額の増加に結びつかない。</p>											
	②改革提案	<p>・寄附の目的となる事業、返礼品をあらかじめ明示し、寄附者の応援の気持ちに結び付け取組とする。</p> <p>・返礼品の活用は、飯田の特産物を調達し、地場産業の振興に資する取組とする。</p>											